

健診序盤に面接を実施！ 優先的に血液検査を実施する対象者を選定



長野県諏訪市

日本赤十字社
諏訪赤十字病院

健診受診者数：4,123人
特定保健指導対象者数：737人
初回面談実施人数：607人
初回面談実施率 **82.4%**

※令和5年度に実施した協会けんぽの生活習慣病予防健診・事業者健診に基づく健診機関における実績値

お話を伺った方

健診指導師長 柳原 園子 さん (左)
健診指導課 保健師 米山 優紀子 さん (右)

point 01 特定健診のスタートは医療面接から

特定保健指導を受けていただくためには、血液検査の結果を早く出し、対象者をお待たせしないことが大切です。そこで、健診受診のための確認と**特定保健指導の振り分けを兼ねて、初めに医療面接（問診）**を行います。当日の腹囲や前年データなどから、血液検査を急ぐ方と急がない方を分けています。治療中の方など特定保健指導の対象外の方は、その時点で振り分けができます。

point 02 「急ぎ対応」の血液検査は箱を分ける

血液検査が急ぎ対応となった場合は、**採血後の検体を「Q袋」と書かれた箱に入れます**。特別なシステムや機器があるわけではなく、意外とローカルな対応をしています。

検査結果が出る時間と他の検査の所要時間から逆算して、検査室に出す時間を調整しています。また、病院のメッセージ（搬送）システムにのせられない朝の時間帯は、自分たちで運び、早く検査に回すようにしています。

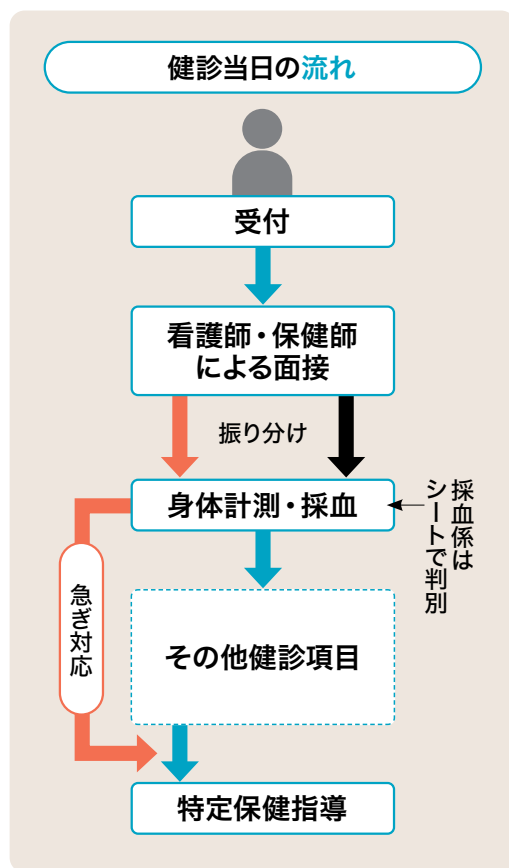
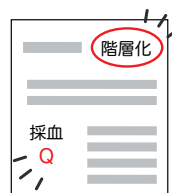
数が多いと病棟の検査と重なり時間がかかってしまうので、協会けんぽの当日初回面談対象者を優先して対応してもらっています。



「Q袋」のQは“急”のこと。箱で分けるので誰でもわかるようにしています。



協会けんぽの加入者かどうか、採血した検体を早く回すかどうかは、受診者が持つシートに記入することで、どの係でもわかるようにしています。



特定保健指導推進の
きっかけ・背景

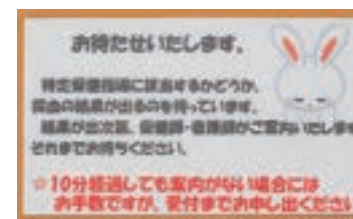


2018年に特定保健指導が第3期に変わるタイミングから本格的に取り組みました。日本人間ドック・予防医療学会の研修などで他の施設の保健師と意見を交換したり、内部で話し合って体制を変えるなど、しっかりと特定保健指導を実施しようとなりました。その結果、2017年に8%だった初回面談の実施率が、今では80%以上となっています。

point 03 チラシをつくり対象者に配布

健診を当院で受けてくださる方は、翌年も当院で受けてくださる方が多いと思います。特定保健指導の体制を変えた2018年に**特定保健指導の概要等を説明したチラシ**を作りました。待ち時間に読んでいただき、特定保健指導について理解していただくようにしています。また、待ち時間が長くなると帰られてしまうこともあるため、血液検査の結果を出していることなどを書いたカードをお渡ししています。

さらに、予想外に血液検査に時間がかかってしまうときには、検査室に確認のうえ、対象者に個別にお声がけをさせていただいています。



▲ほっこりするウサギのイラスト付きカード



▲お渡しするチラシ

point 04 継続支援は電話を希望される方が多い

特定保健指導の継続支援の連絡方法は、初回面談のときに選択していただけます。お昼の時間に携帯電話への連絡を希望される方が多いので、午前中の健診業務の後、人手を割いて電話をします。また、前年度中断者の方には、前回どうだったかと、今回はどんな方法だったか連絡ができそうかをお話すると、連絡がつきやすくなります。初回面談で選んだ**希望の方法で連絡がつかないときは、メールや手紙など、アプローチ方法を変えて連絡をして継続支援につなげる**こともあります。

保健師から言われて仕方なくやるのではなく、やってみてよかったと言われるサポートを目標にしています。

1年に1回、一緒に健康のことを考えてくれる施設なんだと思ってもらいたいです。



健診機関担当者からひとこと

✓ 体格がよくなってきている方などは、自分の体のことが心配だと思えます。受診勧奨でも特定保健指導でも、血液検査の数値を主要な部分だけでも見ながらその日のうちにお伝えできるというのは、とても大切だと思います。

✓ 2018年に本格的に取り組む前には、事例数が少なかったのですが、今では統計的にもかなりの数の事例が集まるので、ケース検討やリフレクションなどの勉強会をしています。特定保健指導をたくさん実施することによって、質を高める効果が期待できるという副産物も生まれています。

諏訪赤十字病院

長野県諏訪市湖岸通り5丁目11番50号
https://www.suwa.jrc.or.jp/

設立：1923年1月

事業内容：健康診断（生活習慣病予防健診・特定健診・法定健診・定期検診）、人間ドック（1日ドック・2日ドック・レディースドックほか）、専門ドック（脳ドック）、がん検診（PET-CT検査等）、特定保健指導・健康相談（以上、健診センターの事業）

